

# 学生論文コンテスト優秀論文（要旨）

[優秀論文]

## 2000年から2024年のヒットソング歌詞分析

こども教育学科4年 小野 未侑

### 1. 序 章

音楽のストリーミング配信が普及し、身近な存在となった音楽。私は、メロディー重視はだが、「関ジャム」という番組でアーティストたちが歌詞の魅力を語る様子を見て、歌詞にも興味を持つようになった。最近ではアーティストの歌詞集が発売されたり、文学的な歌詞が注目されることにより、さらに興味を持つことになった。音楽に流行があるならば、歌詞にもあるのではないかと思い、2000年～2024年のヒット曲を通じてその変化を知りたいと思うようになった。

本研究は、2000年～2024年上半期までのヒットソングを集め、テキストマイニングによる頻出単語、歌詞の表現特性などを分析して、年代別の歌詞の特徴や移り変わる歌詞の変化を明らかにしていく。そして、テキストマイニングを活用した歌詞分析を、授業の中でも扱うことはできないか授業検討を行うことが目的である。

研究方法としては、「オリコン年間シングルランキング」と「ビルボードジャパン年間ランキング」の上位3曲を対象に、歌手分類、タイアップ分類、人称分類などの簡易分析を通して大まかな特徴を掴む。そして、KH Coderを活用し、歌詞に出てくる単語の出現数などを表などで可視化しながら分析を行う。分類結果から頻出単語や表現の特徴など分析を行い、歌の流行傾向から見る言葉の移り変わりなどを考える。

### 2. テキストマイニングを用いた歌詞分析研究の現状と課題

#### ・テキストマイニングを用いた歌詞分析研究の現状

テキストマイニングは音楽の歌詞分析にも応用されている。具体例として、生池伸安の「YUIの歌詞の表現特性」という研究では、特定の語の使われ方やテーマを解明させていた。豊田雄大の研究では、平成30年間のヒットソングの歌詞の変遷を調べ、語数や繰り返しの変化を明らかにした。また、ネット記事の分析では、1980年～2020年のヒット曲の歌詞における語彙の変化を示し、近年では、「君」や「僕」などの共感を呼びやすい代名詞が増えたとされている。

これらの研究は、歌詞を時代や社会を映す鏡として捉え、音楽と言葉のトレンドが社会や文化と密接に関係していることを示している。

#### ・テキストマイニングを用いた歌詞分析研究の課題

NTTコムオンライン・マーケティング「テキストマイニングの使い方や事例、注意点を解説：データ解析・分析手法」では、テキストマイニングの限界を「機械は文章の意味を理解できない」「大量のデータが必要」「処理に時間がかかる」「結果の解釈が難しい」と述べていた。これらのテキストマイニングの限界を理解した上で、歌詞分析においては、どのような課題があるかという点、「比喻や隠喩の処理の難しさ」「文脈依存の問題」「語の頻出度の影響」があると考えた。歌詞の多様で抽象的な表現や、メロディーやリズムなどの音楽的要素を考慮しないテキスト分析には正確な分析ができない。また、歌詞はサビの繰り返し表現が多いため、重要な意味を持つ語が見落とされてしまうなどといった課題が挙げられる。

### 3. テキストマイニングを活用した歌詞分析

研究分野が多いため、一部を掲載する。2000年～2024年上半期のヒットソングを集計し、5年ごとの頻出語を抽出した。一部の結果を載せる。

表1 2000～2004頻出単語

順位	単語	頻度	順位	単語	頻度
1位	夢	15	6位	強い	8
2位	今	14	7位	行く	8
3位	花	13	8位	少し	8
4位	愛	10	9位	待つ	8
5位	人	10	10位	知る	8

花は「長い髪は枝となってやがて大きな花をつけました」など、歌詞を見ていると花そのものを歌っているだけでなく、花を自身や人に例えているような表現の方法として使われている。この年代の特徴ワードは「強い」である。このワードが出てくる曲は多くあった。「君が見せる仕草 僕を強くさせるサイン」や「戦う程強くなるのさ」、「無くしたものを超える強さを 君がくれたから」などと苦難や困難に立ち向う、立ち向い得た強さを表している表現がこの年代の特徴だといえる。

### 4. 教育現場でのテキストマイニング活用法

#### ・テキストマイニングを活用した歌詞分析の授業提案

1つ目は、国語である。説明文や物語の要約において、児童同士で重要なキーワードをテキストマイニングで抽出し、要約作業を支援する方法や、短歌や詩の授業では身近な歌詞を導入として興味をもたせる方法での授業が可能である。

2つ目は、算数の授業である。歌詞分析を活用し、分析結果を読み取り表やグラフにまとめ、データの可視化や統計的学習の体験が可能だ。

3つ目は、音楽の授業である。歌詞をテキストマイニングで分析し、歌詞の意味や背景を深く理解して合唱の表現を工夫することで、歌詞理解が深まり、一体感のある合唱に繋げられる。

4つ目は、総合的な学習の時間だ。プロジェクト型学習として、歌詞におテーマや頻出語からわかることなどをグループの議論を通して、発表する授業だ。自由度の高い総合の授業であるからこそ、子どもたちにとっても、有意義で楽しい授業が可能である。

## 5. 終章

タイアップ曲がランキングの上位に来ていること、「夢」「今」「心」「愛」などの普遍的な単語が各年代で頻出している一方、年代ごとに特有の語彙も明らかになった。2000年代初頭には「花」「強い」といった自然や精神的な強さに焦点をあてた歌詞が特徴的だった。2000年代後半にかけては、「未来」「風」「手」など、未来志向や自然との繋がりを意識した表現が増加し、「手」が努力や実現を示すものとして歌詞に頻出している点が注目された。2010年代は特に、「恋」や「好き」といった恋愛をテーマにした楽曲が目立つようになった。2020年以降の楽曲では人との繋がりを大切にしている「手」が特徴的であった。テキストマイニングを用いた歌詞分析研究は、時代背景や、社会的価値観を音楽から読み取る可能性を示していた。本研究では教育現場での活用も考えることができた。

# ディズニー映画における名言の感情を揺さぶる力

こども教育学科4年 川崎 琴音

## はじめに

本研究では、なぜディズニー映画における「名言」がこれほどまでに人々の心を掴むのかについて考察する。

ディズニー映画のことは、単に感動を与えるだけでなく、観る人の心に長く残り、人生の支えとなることも少なくない。ことは持つ感情を揺さぶる力について深く探ることで、人々がそれをどのように受け取るのかを明らかにしていきたい。

本稿では、「ことは」を平仮名で表記することで、その柔らかさや幅広いニュアンスを大切にし、ディズニー映画の名言が持つ感情を揺さぶる力に寄り添う形を意図している。

### 考察対象の映画について

表1 考察対象とする映画一覧

No.	ディズニー作品タイトル（公開年）	No.	ピクサー作品タイトル（公開年）
D1	塔の上のラプンツェル（2010）	P1	トイ・ストーリー3（2010）
D2	シュガー・ラッシュ（2012）	P2	インサイド・ヘッド（2015）
D3	アナと雪の女王（2013）	P3	リメンバー・ミー（2017）
D4	ベイマックス（2014）	P4	トイ・ストーリー4（2019）
D5	ズートピア（2016）	P5	マイ・エレメント（2023）

今回扱う作品は、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオとピクサー・アニメーション・スタジオのものとする。以下では、ウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオの作品を「ディズニー作品」、ピクサー・アニメーション・スタジオの作品を「ピクサー作品」と記す。

## 第1章 ディズニー映画の特徴

ディズニー作品とピクサー作品は、それぞれ異なるアプローチを取っているものの、共に普遍的なテーマを扱い、観客に強い感情的影響を与える。ディズニー作品は、家族や友との、愛といった感情を通して成長するキャラクターを描き、観客に共感や希望を与える。一方、ピクサー作品は、現実の課題に直面し、それを乗り越えようとするキャラクターを通して、観客に人生の教訓や自己実現の重要性を伝えている。

またどちらの作品も、セリフそのものが観客に深い感動を与える力を持っている。ディズニー作品の名言は、観客に希望と勇気を与え、ピクサー作品の名言は深い思索を促し、人生に対する新たな視点を提供する。いずれにせよ、名言は映画の感情に及ぼす影響を強化し、観客に心に残るメッセージを届ける重要な役割を果たしていると考えられる。

## 第2章 タイトルの由来

ディズニー作品はキャラクターや設定を強調したタイトルが多く、観客にわかりやすい印象を与える。一方、ピクサー作品はタイトルに深いテーマや感情的なメッセージを込めることが多く、観客に物語の中

での成長や感情の重要性を伝えている。

だがどちらの作品も、映画のタイトルやキャッチコピーは、作品のテーマやメッセージを観客に伝える大事な役割を担っている。

### 第3章 本稿で扱う名言

本稿では、映画の中で観客に強い印象を与えたセリフや、その作品のテーマやメッセージを象徴する場面でのセリフを「名言」として扱う。特に、感動したり涙したりするようなシーンで登場するセリフや、物語の中で重要な意味を持つものを「名言」と定義する。これらのセリフは、観る人の心に残りやすく、映画全体の印象やテーマを深く伝える役割を果たしていると考ええる。

### 第4章 名言の文法的特徴

なぜ、ディズニー映画でのことばは人々の心を掴むのかを考察していくために心に響くことばにどのような要素が多く出現するのか、その傾向を文法的観点から分析する。その際、品詞ごとの特徴、係り受け、構文パターンの3つに注目していく。

分析すると、ディズニー映画の名言が単なるキャラクターのセリフ以上の役割を果たしていることが見えてくる。具体的には、個々のことばや構文が観客に共感を引き起こし、キャラクターの経験を通じて自己を見つめ直したり、人間関係や人生の価値を再確認するきっかけを与えていたりすると考えられる。このように選ばれたことばの配置によって、ディズニー映画のことばは観客の心を掴み、深い感動を与える力を持っていると言える。

### おわりに

本研究では、ディズニー映画における名言がどのように人々の心を掴み、感情を揺さぶる力を与えているのかを分析してきた。その結果、これらの名言が単にキャラクターのセリフとして機能するだけでなく、物語のテーマを強調し、観客に深い共感や希望をもたらす役割を果たしていることが明らかになった。

映画の名言がこれからも多くの人々の心に響き、その人生を豊かにする存在であり続けることを願って、本稿の締めくくりとする。

### 参考文献

#### 【書籍】

大浦綾子構成 (2023) 『あなたの人生に魔法をかける、ディズニー映画100の名言』

#### 【論文】

佛木真穂、萩原将文 (2016) 「名言の特徴分析及び心に響く励まし文の自動生成」『日本感性工学会論文誌』 Vol.15 No.6

#### 【Web 記事】

「Disney +」 <https://disneyplus.disney.co.jp> (2024.11.25参照)

「【ディズニー映画って何?】制作スタジオの歴史を紐解きながらディズニー映画の定義を深堀り!」 <https://castel.jp/p/8753> (2025.1.23参照)

「『塔の上のラプンツェル』が他のディズニープリンセスと一線を画す、5つの事実」 <https://www.vogue.co.jp/lifestyle/article/disney-animation-tangled-raphunzel-trivia> (2025.1.24参照)

「10年前の映画評: トイ・ストーリー 3 がアニメ史上最高のエンディングなわけ」 <https://note.com/junot/n/nbcc634add0f5> (2025.1.27参照)

「ディズニー&ピクサー映画『インサイド・ヘッド2』少女ライリーに訪れる“大人になるための新しい感情”」 <https://www.fashionpress.net/news/112390> (2025.1.27参照)

「『トイ・ストーリー 4』監督が明かす、ウッディの新たな冒険。さらなる続編の可能性は?」 <https://moviewalker.jp/news/article/196849/> (2025.1.27参照)

# 外国にルーツを持つ児童に対して学級担任による指導

こども教育学科4年 中山 隼

## I. 主題設定の理由

### 1. 外国人児童生徒と日本語指導が必要な児童生徒数の現状

近年、在留外国人の増加に伴い、日本語指導が必要な外国人児童生徒数は年々増加している。2023年末時点で在留外国人は341万人を超え、その中で日本語指導が必要な児童生徒は約5万8,000人に達し、過去最高を記録した。この増加傾向は今後も続く予測される。また、日本語指導が必要な児童が在籍する学校は全国で約9,932校ある。

### 2. 「散在地域」(千葉市立A小学校)の現状

千葉市立A小学校は外国人児童が少ない「散在地域」にあり、学年に1人程度の外国人児童が在籍しているが、特別な指導体制は整備されておらず、担任がその対応を担っている。

このような状況では、効果的な指導が難しく、担任としての指導方法に不安を感じる。

### 3. 「集住地域」(千葉市立B小学校)の取組

千葉市立B小学校は「集住地域」にあり、多くの外国人児童が在籍し、十分な日本語指導体制が整っている。特に、取り出し指導が実施され、ゲーム性を取り入れた楽しい学習方法が採用されている。これにより、児童は自ら進んで日本語を学ぶ意欲を持つようになり、教員との人間関係も構築されている。

### 4. 問題意識について

B小学校は「集住地域」にあり、日本語指導の加配教員が3人配置されている。日本語指導体制もしっかりしていた。筆者が実際に教壇に立ち指導する学校は「集住地域」とは限らない。むしろ、「散在地域」の可能性が高い。日本語指導が必要な外国にルーツを持つ児童は増え、筆者が担任することもあると考えられる。散在地域で担任中心の日本語指導や学習指導をどのようにしたらよいか今後の課題だ。

## II. 研究の目的

本研究では、外国にルーツをもつ児童に対して、担任としてできることは何か。また、どのような指導をしたらよいのか研究を通してまとめていく。

## III. 研究の実際

### 1. 研究主題に関する基礎的理論研究

文部科学省は「外国人児童生徒受け入れの手引き改訂版」(2019)で、外国人児童生徒への支援方法を提示している。

#### (1) 指導方法について

文部科学省の指導方法は、外国人児童生徒のニーズに応じて5段階に分かれている。

①サバイバル日本語プログラム②日本語基礎プログラム③技能別日本語プログラム④日本語と教科の統合学習プログラム⑤教科の補習プログラム



これらの指導方法は段階的であり、「サバイバル日本語プログラム」や「日本語基礎プログラム」は初期指導として有効的だ。

## (2) 進路指導について

進路指導においては、保護者との連携が重要だ。①保護者には母語での会話を勧め、日本語を強制しない。②外国人児童生徒が生活言語と学習言語の違いを理解し、学習言語の習得が重要であることを伝える。③高校進学や就職に関する情報を、教育委員会やネットワークを通じて収集し、保護者に十分に説明する。将来の進路、キャリアを見据えた指導をする。

## 2. ボランティアや聞き取り調査から考える支援の在り方

### (1) A小学校（散在地域）での聞き取り調査から

A小学校では、特別支援課程は組まれていない。文化の違いは配慮されていた。日本語は日常会話として使えるが、学習言語としては理解に遅れがある。在籍学級担任が関わりを多くしていくことで他の児童の仲間意識が芽生え関わりを多くすることができると考えた。

### (2) B小学校（集住地域）での聞き取り調査から

B小学校は50%以上が外国にルーツを持つ児童が在籍する。日本語指導教員が3名おり、教科別指導を行い、児童の活躍の場を作ることが成功している。言語習得支援は取り出し指導だけでなく、在籍学級での積極的な関与と役割付与が大切であることが分かった。

### (3) C小学校（散在地域）での聞き取り調査から

C小学校は外国にルーツを持つ児童は日本語で会話することが出来るが馴染むのに苦労していた。グループが出来上がってしまい、友達に馴染めない状況だ。筆者は日本語が上達しても環境づくりを在籍学級担任がしないと馴染むことが出来ないことが分かった。

B校の指導体制を筆者も参考にしたい。個に応じた指導を心がけたい。

## 3. 学級担任の対応に関する先行研究

土井真智子教諭の研究では、外国にルーツを持つ児童に対し、日本語習得、居場所づくり、校内連携、保護者支援が重要とされている。

日本語指導は在籍学級担任だけではなく、学校全体で指導していく必要性が分かった。

## 4. ICTやデジタル教科書の活用（外国人児童向け）

(1) 個別最適化と協働的な学びを実践する。(2) 家庭学習との連携をする。(3) ICT教材の実際：散在地域では、Google翻訳やポケトークが活用されているが、他のICT教材の活用が進んでいない。(4) 課題：インフラ整備や家庭での利用環境が整っていないことが課題だ。

## IV. 散在地域での学級担任の指導の在り方

文献研究や聞き取り調査等によって得た情報をもとに、指導方法についてまとめた。

(1) わかりやすい言葉での指導をする。(2) ジェスチャーや身体言語の活用をする。(3) 個別の学習ペースの尊重をする。(4) 学習成果の「見える化」をする。(5) ポジティブなフィードバックをする保護者や地域との連携を強化する。

## V. 考 察

### 1. 散在地域だからこそできること

散在地域だからこそできる「きめ細やかな個別対応」と「地域全体を巻き込んだ支援」を組み合わせることで、外国人児童生徒は安心して学校生活を送ることができる。日本語能力の向上だけでなく、豊かな人間関係を築き、自己肯定感を高めることができる。